

# 透析患者に対する予防接種



## 2025年秋の呼吸器疾患予防に関する推奨事項

ワクチンは、入院や場合によっては死亡につながる重篤な病気のリスクを軽減することを目的としています。腎臓病の人は特に危険にさらされます。注: ほとんどのワクチンは、地元の薬局またはプライマリケア提供者から入手できます。透析組織も、以下のワクチンの多くを提供しています。

### 1 COVID-19（新型コロナウイルス感染症）

毎年秋におすすめてです。

### 2 インフルエンザ（高用量ワクチン）★

毎年秋に接種することをお勧めします。高用量ワクチンを接種する必要があるかどうかは、医師に確認してください。

### 3 肺炎球菌性肺炎

ワクチン接種歴に応じて1回または2回の接種が推奨されます。成人の透析患者は全員、全シリーズの接種を受ける必要があります。

### 4 RSウイルス（60歳以上）

時期: 初回投与は晩夏/初秋

その他の重要なワクチン:

#### B型肝炎 ★

時期: 最初の3回または4回の接種シリーズ、  
毎年の力価測定

#### 带状疱疹ワクチン（50歳以上）

時期: 2~6か月間隔で2回接種

- ★インフルエンザやB型肝炎のワクチンは透析施設で接種されることが多い

私の患者がCOVIDワクチンとインフルエンザワクチンを接種すれば、それらの病気にかからないということでしょうか？

COVID ワクチンやインフルエンザワクチンを接種しても、患者がウイルスに感染しないことが保証されるわけではありません。しかし、ワクチン接種を受けることで重症化するリスクは低下します。ワクチン接種により入院や死亡のリスクが減少することが示されています。

透析を受けている人はなぜ肺炎球菌ワクチンが必要なのでしょう？

肺炎球菌は肺炎を引き起こす重篤な病気を引き起こす可能性があり、血流に入ると敗血症を引き起こします。腎臓病の人は初回接種が必要で、5年後に追加の追加接種が必要になる場合があります。

透析を受けている人はなぜRSウイルスワクチン接種が必要なのでしょう？

進行した慢性腎臓病（ステージ4~5、血液透析またはその他の腎代替療法に依存している）を患う60~74歳の成人は、重度のRSウイルス感染症のリスクが高いという疫学的証拠があります。

#### 重要な注意

- 以前の投与量または成分に対して重度のアナフィラキシーを起こしたことがある患者、およびギランバレー症候群の病歴のある患者は、ワクチン接種を受ける前に医師に相談する必要があります。

メール:  
epc.asn-online.org

ASN  
American Society of Nephrology